

# 令和 6 年度麻布地区高齢者相談センター 事業評価チェックシート

## 【事業計画・報告に掲げる大項目】

- 1 設置目的達成に向けた取組
- 2 介護予防ケアマネジメント
- 3 総合相談支援
- 4 権利擁護業務
- 5 包括的・継続的ケアマネジメント
- 6 その他の事業
- 7 運営体制

○このチェックシートは、高齢者相談センター（地域包括支援センター）が、センターの基本的な業務について、センターがセルフチェックすることで日常的に業務の実施状況を点検するとともに、年度末における点検結果を地域包括支援センター運営協議会における事業評価に反映するものです。

○高齢者相談センターは、各チェック項目ごとの実施状況に応じた選択肢を記入してください。

- a：適切にできている
- b：概ねできている
- c：できていない（実施していない）

○評価欄は、事務局がチェックシート等を元にした各センターへのヒアリングを実施後、記入します。  
（S、A、B、Cの4段階評価）

※事業評価チェックシートの評価は、事業評価コメントシート（様式2）における評価のベースとします。

# 港 区

# 令和6年度麻布地区高齢者相談センター事業評価チェックシート

チェック項目		高齢者相談センター記入欄	事務局 記入欄
<b>1. 設置目的達成に向けた取組</b>		(選択肢)	記入欄
地域の特性に合わせた現状分析・課題分析が適切に行われている		a ・ b ・ c	a
当初の計画に沿って取組が実施されている		a ・ b ・ c	a
当該年度の業務における課題が明らかになっている		a ・ b ・ c	a
職員全員が課題の内容を理解し、一丸となって取り組んでいる		a ・ b ・ c	a
			A
<b>2. 介護予防ケアマネジメント</b>		(選択肢)	記入欄
要 支 援 1 ・ 2	利用者に十分な説明を行い、適切なアセスメントに基づいたケアプランの作成が行われている	a ・ b ・ c	a
	必要なモニタリングと評価ができています	a ・ b ・ c	a
	ケアプランの質を向上させる体制を整備し、職員の実務にいかせる取組を行っている	a ・ b ・ c	a
	介護予防支援業務における利用サービス事業所及び委託する居宅介護支援事業所の選定は適切に行っている	a ・ b ・ c	a
	委託した介護予防サービス計画の内容を確認し、適宜、委託先の居宅介護支援事業所の支援を行っている	a ・ b ・ c	a
介 護 予 防	対象者の状態を的確に把握し、適切なケアマネジメントの目標設定ができています	a ・ b ・ c	a
	事業実施者と連携し、適切なモニタリングや評価ができています	a ・ b ・ c	a
	評価が困難な事例等について情報収集・共有し、ケアマネジメントを行っている	a ・ b ・ c	a
	介護予防の必要性など、普及啓発を日常的に行っている	a ・ b ・ c	a
			A

3. 総合相談支援		(選択肢)	記入欄	評 価
高齢者のあらゆる相談を受け入れられる体制が整っている	a ・ b ・ c	a	A	
個別訪問等により、地域の高齢者の状況把握を行っている	a ・ b ・ c	a		
困難事例の対応への手続きや流れを職員全員が理解し適切に対応できる	a ・ b ・ c	a		
地域の社会資源やニーズを把握し、地域のネットワーク構築を行っている	a ・ b ・ c	a		

4. 権利擁護業務		(選択肢)	記入欄	評 価
成年後見制度等の利用への支援・啓発を行っている	a ・ b ・ c	a	A	
高齢者虐待の通報に対し、適切に対応している	a ・ b ・ c	a		
高齢者の消費生活被害の防止に関する啓発等を行っている	a ・ b ・ c	a		

5. 包括的・継続的ケアマネジメント		(選択肢)	記入欄	評 価	
包括的・継続的ケアマネジメントの体制を構築し、関係機関と連携して対応している	a	・ b	・ c	a	S
地区内の介護支援専門員（居宅介護支援事業所）を把握し、ネットワークの構築を図っている	a	・ b	・ c	a	
介護支援専門員を対象とした研修や事例検討会を実施するなど、支援体制を構築している	a	・ b	・ c	a	

6. その他の事業		(選択肢)	記入欄	評 価	
介護予防普及啓発事業を実施している	a	・ b	・ c	a	A
認知症サポーター養成講座を実施している	a	・ b	・ c	a	
港区独自事業の実施にあたっては、関係部署と連携して実施している	a	・ b	・ c	a	
港区が実施する事業等へ、関係機関と連携して実施している	a	・ b	・ c	a	
認知症予防の啓発及び認知症高齢者への対応を行っている	a	・ b	・ c	a	

7. 運営体制		(選択肢)	記入欄	評価
配 人 置 員	地域包括支援センターとして、専門職種が適正に配置されている	a ・ b ・ c	a	A
	指定介護予防支援事業所として、専門職種が適正に配置されている	a ・ b ・ c	a	
体 制	各職種の専門性を活かした、チームアプローチの体制ができている	a ・ b ・ c	a	
	センター長及び管理者が日頃の業務内容を網羅的に把握している	a ・ b ・ c	a	
	センター長及び管理者が業務評価（セルフモニタリング）を定期的に行っている	a ・ b ・ c	a	
	センター内での会議、ミーティング等を通じて職員間の情報の共有ができている	a ・ b ・ c	a	
	職員がセンターの設置目的、区立施設（指定管理制度）であることを正しく理解している	a ・ b ・ c	a	
	職員の研修履歴や年間の研修計画を作成するなど、職員が計画的に研修参加できるよう配慮している	a ・ b ・ c	a	
	日常業務における課題や反省点等を共有し、センター業務の改善につなげている	a ・ b ・ c	a	
	緊急時対応マニュアル等を整備し、緊急時に迅速かつ的確な対応が行える体制を整備している	a ・ b ・ c	a	
	災害時対応マニュアル等を整備し、災害時に迅速かつ的確な対応が行える体制を整備している	a ・ b ・ c	a	
	震災等の発生を想定した「業務継続計画」を策定している	a ・ b ・ c	b	
	苦情解決についてのマニュアル等を整備し、的確な苦情対応が行える体制を整備している	a ・ b ・ c	a	
	職員が個人情報保護に関する法令等を理解し、遵守している	a ・ b ・ c	a	
	相談時に相談者のプライバシーを確保している	a ・ b ・ c	a	
	特定の団体等に有利又は不利にならないよう、中立かつ公平な運営がなされている	a ・ b ・ c	a	
施 設 運 営	物品管理責任者を定め、区から貸与されている備品を把握し、適切に管理している	a ・ b ・ c	a	
	施設及び付帯設備を常に良好な状態で維持及び保全並びに保守管理を行っている	a ・ b ・ c	a	
	水道、電気等の使用について、エネルギー使用量を把握し、施設の省エネルギー化に取り組んでいる	a ・ b ・ c	a	
	指定管理料や利用料金等、日常から適切な会計処理が行われている	a ・ b ・ c	a	
	指定管理業務の経費にかかる関係書類を適切に保管している	a ・ b ・ c	a	
	労働関係法令や就業規則に則り適切な運営が行われている	a ・ b ・ c	a	

# 令和6年度麻布地区高齢者相談センター 事業評価コメントシート

高齢者相談センター記入欄				運営協議会 記入欄	
項 目		(1) 今年度の取組のプロセスについて、良かった点や工夫した点など	(2) 次年度への課題と対応	評 価	コメント
1	設置目的達成に対する取組	・関係法令を遵守し、感染症予防に努め、協定書に従い適切な対応を行いました。 ・社会情勢の動きをつかみ、終活や複合的な課題がある世帯の支援などを関係機関と協力しながら進めることができました。	・日々の相談業務や地域での普及啓発、関係機関との情報交換を通じて、地域課題の把握に努め、課題を区へ適切につなげていきます。 ・地域や関係機関との会議等に積極的に参加し、地域連携の強化に努めます。	A	複合的な課題を有する世帯の支援に関し、重層的支援体制整備事業を見据え、対応していました。 引き続き、制度を適切に活用した対応を期待します。
2	介護予防ケアマネジメント	・福祉用具事業所協力のもとで地域サロン参加者を対象とした歩行測定会を開催し、介護予防アプローチにつなげました。 ・いきいきプラザと定例会を開催し、対象者の状態に合わせたサービスにつなげることができました。	・セルフネグレクトなど潜在的なハイリスク集団への介護予防アプローチを継続展開していきます。 ・居宅介護支援事業所数が減少しているため、引き続き委託契約で要支援者のケアプランを受けてくれる居宅介護支援事業所の発掘を進めていきます。	A	ふれあい相談室と連携し訪問を行うことで、潜在的なニーズへのアプローチができていました。 いきいきプラザとの定例会を開催し、みんなと元氣塾の参加勧奨につなげていました。
3	総合相談支援	家族関係が複雑化した複合的な事例の相談が増加しています。高齢者支援課高齢者相談支援係や地区総合支所と連携して対応することも多く、地区総合支所との情報交換会で共有する事例が増えています。その都度ケース会議を開催し、各部門の総合支所職員とともに積極的に対応しています。	・ケース会議を随時開催しながら事例の解決を図ります。 ・複合的な事例において、地区総合支所協働推進課、みなと保健所生活衛生課等とも協働して対応していきます。	A	複合的で対応が難しい事例が増加していますが、適宜関係各所と必要な会議を開催し連携に努めています。これからも協力して事例解決にあたってください。
4	権利擁護業務	・新規虐待通報受理は13件です。虐待対応事例は迅速に対応しています。 ・区の研修にも事例を複数回提供し、区と協働して対応しています。 ・地区総合支所と情報交換会を開催し、虐待事例だけでなく、困難事例も情報共有を図っています。 ・社会福祉協議会の事例も地区総合支所との情報交換会の場で情報共有し、進捗を確認するとともに、後見人支援を行っています。	・高齢者虐待に対して関係機関と連携した迅速な情報収集と緊急度の把握・状況整理に基づき、地域で区民の権利侵害が発生しないよう、支援チームとして対応力の強化に努めます。	A	職員全員が権利擁護に関する研修を定期的に受け、常に知識の向上に努めています。関係機関との支援チームが迅速かつ適切に対応できるよう、情報交換会を継続してください。
5	包括的・継続的ケアマネジメント	・地区地域ケア会議を自立支援型含め7回開催しました。介護離職防止をテーマにした港区地域ケア会議につなぐことができました。 ・ケアマネジャー向け課題検討会を27回実施し、ケアマネジャーと事例を共有するなど関係を強化しています。 ・多職種連携勉強会「タワーの下での勉強会」はオンラインで開催し、多職種のつながりを継続支援することでネットワーク構築に努めました。	・課題検討会を中心にケアマネジャーの地域対応力向上支援に加え、課題検討会や地域ケア会議を活用しながら地域の課題を明確にし、地域の支援者と協働して対応していきます。	S	ケアマネジャー、医師、薬剤師、介護事業者、理学療法士が参加した多職種連携勉強会では、それぞれの分野の課題を情報共有し意見交換することで、関係機関の連携を強化できていました。
6	その他の事業	・認知症サポーター養成講座を9回実施しました。 ・終活をテーマにした自身の権利を見つめるための高齢者相談センター定期開催講座「老後をあなたらしく生きるために」を介護・福祉・医療の全領域について網羅するシリーズ化として再編し開催しました。 ・5高齢者相談センターの主となり、区や地域との連携を図っています。	・オレンジカフェ等、参加者が積極的に参加できる取組を継続していきます。 ・時代の流れで講座を写真に撮り、SNSに投稿する参加者も出てくるようになったため、事業開催の在り方を検討し、開催します。	A	終活に関する講座を、毎年内容を見直しながら行うことができています。 認知症サポーター養成講座を幅広い対象に向け行っており、今後も期待しています。
7	運営体制	・各種研修への積極的な参加や災害をテーマにした地域ケア会議の開催、定例会議、ミーティングの時間を使った事例共有を実施し、職員間の情報共有や資質向上に努めました。 ・災害・感染症等のBCPを見直すとともに、行動レベルでの実用的なマニュアル整備を進めました。	ふれあい相談室との情報交換・共有がスムーズに行われるようになり、協働対応事例が増加しています。利用者の立場にたち、迅速な問題解決に努めていきます。	A	ふれあい相談室との連携が更に円滑にとれるようになり、ミーティングも合同で行う機会を設けるなど、事例を共有する機会が増加しました。
8	その他	・必要に応じてオンラインを活用した事業展開を行いました。 ・高齢者相談センター内の月例会議や朝夕に実施するミーティングは原則全員参加とし、麻布地区総合支所と協働対応している事例の共有を図りました。 ・多岐にわたる課題について、福祉総合窓口での対応を含め、適宜ケース会議や地域ケア会議を行い、複数の所管課と連携を図り各部門の役割を明確にしながら問題解決を図りました。			事例検討会や講座にオンラインを活用することで、参加のしやすさにつながりました。 複合的な事例に対し、積極的に会議を開催し意見交換を実施することで、適切な制度へつなげることができています。